

公民館だより Toyosato

豊里コミュニティ推進協議会
豊里公民館広報

5 月号

平成28年5月1日発行



平筒沼桜花爛漫 満開の桜 学習館賑わう



桜満開の中、休館日を利用して開催されたグラウンドゴルフ大会

平筒沼の南側、小高い丘の上に建つ平筒沼農村文化自然学習館は、研修会や会議など多彩な催しに利用できる生涯学習施設です。



平筒沼一体には、この学習館敷地内を含め、約600本の桜が植えられており、毎年4月中旬から5月上旬の桜シーズンともなると、市内外から大勢の人々が訪れ、大変賑わいます。

今年も4月末だけで、およそ8,000人を超える方々が来館されており、年を追うごとに増加傾向にあります。

桜満開のこのシーズンは

もちろん、平筒沼は、夏は一面のスイレンと蓮、秋にはみごとな紅葉とコスモスを楽しむことができます。また、冬には白鳥や雁などの渡り鳥が飛来し、四季を通して美しい景観が楽しめる風情豊かなスポットです。

特に、この平筒沼学習館には1回テラスと2階の展望バルコニーがあり、ここ



シーズン中は館内も賑わう

から絶景の平筒沼が一望でき、庭ではグラウンドゴルフも楽しめる施設です。

貴重な民俗資料がいっぱい

～平筒沼学習館をご利用下さい～

平筒沼学習館には、研修室や展示ホール、和室等があり、様々な用途に利用できます。

また、民俗資料展示室には昔の農具や生活民具、いろいろ端、わらにおのミニチュアなど、貴重な民俗文化財



学習館展望台から望む桜満開の平筒沼

を数多く展示しているほか、宮城県指定有形民俗文化財である「釜神」を常設展示しています。

こうした貴重な民俗資料がすばらしい教材になっていることから、市

内外の小・中学校が見学に来る機会が増えています。

もう一度祖先の生活の様子を偲んでみてはいかがでしょうか。平筒沼学習館をどうぞご利用下さい。



展示室には貴重な文化財がいっぱい



ホールに絵画を多数展示

十五貫出身の次藤さん(富谷町)が提供



3月30日から公民館ホール正面に、ゴッホの「自画像」、「ひまわり」やフェルメールの「青いターバンの少女」など、誰もが一度は目にしたことがある有名な西洋画の模写絵など、多数展示しています。

これは、富谷町在住で豊里町十五貫出身の次藤正敏さんが、長年趣味で描き続けた数多くの作品の中から十数点を選び、次藤さんゆかりの「豊里の皆さんに是非見てほしい」と提供していただいたものです。

展示作品は、スペースの関係で10点になりますが、いずれも繊細なタッチで描かれている次藤さん渾身の力作です。

作品展は6月30日まで公開の予定です。すばらしい作品をどうぞご覧下さい。

AGE(糖化)抑えて若さを保つ

食と生活習慣の栄養講座から学ぶ

ーシニアいきいきセミナー開講ー



平成28年度の『シニアいきいきセミナー』を公民館中ホールで開講しました。

本年度は、38名の方々から申し込みがあり、4月25日の開講式には26名の皆さんが参加し、食養コンサルティング事務所の管理栄養士、小林裕子先生(大崎市)の講話でスタートしました。

講話の内容は、食と栄養と生活習慣を総合的にとらえた健康講座で、「同じ年

齢でも若く見える人と、年齢よりも老けて見える人の違いは？」という興味深い問いかけから始まりました。

先生によると、年をとると、体内にAGEという老化物質が溜まり、その量は個人差があるので、若々しさの違いがあるとのこと、AGEは、体内の糖化現象であり、シワやたるみなどの肌老化の最大の原因であることも学びました。

また、規則正しい生活やバランスの良い食事など、AGEを増やさない生活習慣の秘訣を勉強しました。

講話中には実際にAGEを測定。体内年齢を判定して大変有意義な講座でした。



貴重な機器を使ったAGE測定

色彩生かし情操豊かに

ー女性セミナー開講ー



4月28日、公民館中ホールにおいて『女性セミナー』を開講しました。

本年度は24名の方々の申し込みで、この日は20名皆さんが参加しました。

講師にカラーアドバイザーの岩上淑子先生(大崎市)をお招きし、「生活に生かすカラー塾 ～色を味方にいきいきと～」というテーマで、



スカーフの巻き方を楽しく学ぶ

情操豊かな生活のための上手な色彩の生かし方について講話をいただきました。

まずはグループでそれぞれの印象を記入し合い、自分が人からどう見られているかを確認。先生から「人の印象は55%が見た目で決まる」「だからこそ笑顔も大事」というお話もいただきました。

自分のタイプ、色の持つ意味が分かる心理テストに続き、春の装いに華やかさをプラスするスカーフやストールの様々な巻き方も教えていただき、実りある講座となりました。

川谷集落支援員就任

これまで集落支援員として、豊里町域の活性化や地域づくりに活躍された三浦正弘さん(白鳥)が一身上の都合で退職され、4月1日から川谷清一支援員が就任しました。

これまで同様、ご協力よろしくお願いします。

集落支援員制度とは

集落点検や地域の維持・活性化に向けた話し合いを通じて、地域の特色を生かした魅力ある地域づくりのため、各コミュニティ組織ごとに集落支援員を設置する総務省の制度で、登米市長が委嘱します。

プロフィール

氏名：川谷 清一
(かわたに きよかず)
住所：豊里町保手
(大阪府出身)
年齢：59歳(昭和31年生れ)

編集後記

いよいよ平成28年度事業が始動しました。

事業の皮切りは、これまでも大好評の「シニアいきいきセミナー」と「女性セ

ミナー」です。いずれも全6回開催する予定で、内容もバラエティに富み、大変ためになる講座です。どうぞ多くの皆さんのご参加をお待ちしております。

また、そのほかにも盛り沢山の事業を企画しています。事業スタート時には、詳しいご案内をいたしますので、どうぞご参加下さい。

×××××××
熊本県を中心に、九州地

方に大きな地震が発生し、多くの犠牲者が出るなど、甚大な被害が発生しました。

5年前に東日本大震災が発生し、私たちの地域が被災した経験から、今回の「熊本地震」の惨状や被災者の皆さんの苦難は、本当に身近に感じられます。

私たちも全力で支援していくことはもちろん、1日も早い復興を願わずにはられません。(佐々木)

5月の公民館行事

月 日	行 事 内 容	場 所
5月14日(土)	巻きずし教室	公民館研修室
5月19日(木)	いけばな教室	平岡沼学習館
5月28日(土)	豊里・米山キッズ交流事業	公民館中ホール